

## 共助項目に対する提言案・質問一覧表

### 1. 個別事業に関する質問

1項目

内訳：渡邊委員 1項目

通番	対象事業名	内容	市社協からの回答	委員名
1	地域コーディネーターと生活支援コーディネーターについて	地域コーディネーターと生活支援コーディネーターとして勤務している職員に定年はありますか。	地域コーディネーター及び生活支援コーディネーターは、満75歳以下の者とし、年齢が満75歳に達した日以降における最初の3月31日が到来したとき雇用を満了するものとしております。	渡邊副委員長

### 2. 共助（社会福祉協議会）に対する総体的な提言案

2項目

内訳：大野委員長 1項目、齋藤委員 1項目

通番	対象事業名	内容	委員名
1	—	共助の観点から、取り組みについて全体的に全うされていると思います。今後、高齢化等が進む中で、如何に現役世代のボランティアや参加者を取り込むかが課題となってきます。その取り込む仕組みの構築を望みます。	大野委員長
2	—	<p>社会福祉協議会の末端の活動を担うのは、民生委員、自治会役員、地域ボランティア等の人々ですが、同一の人が、民生委員、自治会役員、地域ボランティアを兼任しているのが実情で、更に、何処の団体も成り手不足であり、現任の役員の負担が高まっています。</p> <p>社会格差の拡大、中間層の激減、働き続ける高齢者等を背景に、「全くの無償で社会奉仕を行える人々」の数は減少を続けています。現状のままでは、地域ボランティアの参加者数の増加は困難と想われます。</p> <p>地域ボランティアの参加者数の増加の為に、現在の地域ボランティアの基本理念である「他の人の為に働く」だけではなく、「他の人の為に働き、自分の為に生きる」という観点も加えるのは如何でしょうか？</p> <p>例えば、下記のような「生涯福祉ポイント制度」を提案します。</p> <p>小学校入学時に個人ナンバーカードを作成して、授業で社会奉仕活動を行ったらポイントが付与し、個人ナンバーカードに記録します。</p> <p>社会人になって、会社や自治会の社会奉仕活動に参加したら、上司や自治会長が個人ナンバーカードに記録・加算します。民生委員や地域ボランティア活動にも、ポイントを付加します。</p> <p>こうして一生涯を通じて社会奉仕活動を行ったらポイント加算を続けて、自分が福祉サービスを受ける時になったら、それ迄に溜まったポイントを使って、無償で、又は優先的に福祉サービスを受けられるようにします。</p> <p>年金や社会保険は、自分の支払ったお金は、現在の高齢者の為に使われ、自分の為に使われる保証はありませんが、この福祉ポイント制度なら、自分の行った社会奉仕の量に見合った福祉サービスを、将来、確実に自分が受けることができます。</p>	齋藤委員

3. 個別事業に対する提言案

5項目

内訳：渡邊副委員長 2項目、府野委員 1項目、齋藤委員 2項目

通番	対象事業名	内容	委員名
1	ボランティアの確保・充実	<p>ボランティアの育成、確保のきっかけ作りが学校や子供達に向けられているメニューが多いですが、若年層、中高年層に目を向け、ボランティアに興味、関心のある人に参加していただく研修や体験等を通し、新たな担い手の発掘に繋げることも大切かと思えます。</p> <p>プログラムや研修内容を工夫し、発信していくことを望みます。</p> <p>また、中高年層は得意な分野や能力を活かし、役割をもって活動できれば地区社協事業のボランティアとして定着し、事業の拡大につながるかもしれません。</p>	渡邊副委員長
2	災害時における支援体制の構築	<p>大規模災害は、いつ発生してもおかしくない状況にあります。</p> <p>ボランティアセンターの立ち上げ訓練も大切ですが、有事の際は隣近所のつながりが必要不可欠となります。</p> <p>それには、日頃から各地域・ブロックごとで自主防災組織や赤十字奉仕団、防災士の資格を持っている人などと一緒に訓練を開催し、顔の見える関係づくりをすることが大切かと思えます。</p> <p>または、安心登録カードを活用した安否確認など災害時を想定した取組みの回数を増やすこともいいことかと思えます。</p> <p>有事に備えた、地域での顔の見える関係づくりに資する取組みの検討を望みます。</p>	渡邊副委員長
3	ふれあい・いきいきサロン事業	<p>各地区により温度差はあると思いますが、ふれあい・いきいきサロンが高齢者の方々の交流の場として利用する方が増えてきているように思えます。</p> <p>家の近くの町会・自治会館を利用し、今後も少しの時間でも人との関わりを持ち、楽しく過ごして頂くよう地域での協力体制をさらに築いていかなければと思います。</p>	府野委員
4	ミニデイサービス事業 ふれあい・いきいきサロン事業	<p>現在、ミニデイサービス、ふれあいサロン・いきいきサロンは、高齢者の貴重な学びの場、交流の場になっています。しかし、内容が「生真面目」な物が多く、参加者は固定化の傾向があると思えます。</p> <p>もう少し、「普通の人の幸せや心の豊かさ」にテーマの幅を広げて、より多くの皆さんに参加して頂きたいと思えます。</p> <p>具体的なテーマ案を挙げると、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の美容について（お化粧品、お肌の手入れ、ウィッグ、ネイルアート紹介・体験）</li> <li>・高齢者のオシャレについて（若々しく活動的で素敵な女性になれる服装、ランジェリー、バッグ、小物、靴、帽子…）</li> <li>・素敵な歩き方、姿勢、しぐさ、所作、立ち振る舞い…</li> <li>・素敵な香り（香水、お香、ハーブ…）</li> <li>・美味しいお茶・紅茶・コーヒーの入れ方</li> <li>・素敵なしゃべり方</li> <li>・お友達の作り方</li> <li>・素敵な終活について（お葬式、身辺整理、財産相続、遺言書…）</li> <li>・自分の生きてきた軌跡をたどり、互いに語り合う</li> </ul>	齋藤委員
5	福祉まつり事業	<p>薬台台地区の福祉まつりには、地区社協、民生委員だけでなく、薬園台高校、自衛隊等の展示や公演もあり、地域の交流の場になっていました。</p> <p>多くの来場者が見えましたが、普段から公民館を利用している方々が殆どであり広がりを感じませんでした。</p> <p>せっかくの多くの方々と交流できるイベントですから、普段に余り公民館を利用していない人、社会福祉活動に関わっていない一般の人々を呼び込めるようなもっと楽しく魅力的な企画を準備して、地区社協、民生委員、地元の学校、自衛隊、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、その他の福祉組織・団体と地域住民との交流の場、活動を紹介する場、顔と顔をつなぐ場として、もっと活用して頂きたいと思えます。</p>	齋藤委員